

湘南フォーラム



避難行動計画による安心安全

府川 正明 議員

問 台風や豪雨の際にいつ避難をするか、市民が事前に対応を考慮しておくことが必要ではないか。

防災・危機管理監 風水害は避難行動を市民が事前に計画でき、マイ・タイムラ

インの作成が有効である。洪水ハザードマップ改訂以降、住民説明会や防災訓練などでマイ・タイムラインの作成訓練を行ってきた。避難所運営委員の機能が十分に発揮させる取り組みが必要ではないか。

防災・危機管理監 去年の

台風では避難所運営に課題が出た。地域の声などを基に、新たに風水害に特化したマニュアルを作成する。

湘南海岸公園の整備

問 高浜台にある湘南海岸公園プールの開放期間を延長する考えはあるか。

副市長 監視員は警備業法上の認定が必要で人件費が上昇する中、プールを維持

運営している。費用対効果も勘案しながら検討する。

問 公園を憩いの場所とする機能整備や駐車場増設に向けてどう取り組むのか。

副市長 今後の方向性を海岸エリア魅力アップチャレンジで示している。これを踏まえ市民意見を聴きながら検討したいが、龍城ヶ丘ゾーンの整備のまとまりを待つてから取り組む。

須賀公民館の建て替えは

問 建て替えも考えた取り組みが必要ではないか。

日本共産党平塚市議会議員団



自治基本条例にそつたまちづくりと住民の福祉の増進を

松本 敏子 議員

龍城ヶ丘公園整備

問 公園整備についての住民説明会は、基本協定締結前に行うべきではないか。

都市整備部長 候補に選定された事業者は基本協定締結によって正式に設置等予定者となり、説明会への協力などの責務が発生する。

このことから基本協定締結後に説明会を開催する。

問 樹林帯を切らないでほしいという住民の声に、現状と同等以上の機能を事業者に求めるから問題ないとしてきた。しかし、プール跡地東側のBエリアははつきり樹林帯を切る計画であ

る。工事段階も含めて同等以上をどう保証するのか。

都市整備部長 要求水準書では、現状と同等以上の飛砂防備機能を求めている。工事中は仮設フェンスなどで対策し、現場の状況を見て臨機応変に対応する。

明が難しい部分もあるのが事業者と検討し説明する。

問 片瀬海岸の地下駐車場は年間2000日満車であるが、近隣の駐車場と連携し誘導している。平塚海岸でも同様に他の駐車場と連携すれば、120台分の駐車場整備は不要ではないか。

大神地区土地区画整理事業

問 事業費の内訳を伺う。

都市整備部長 総事業費は約219億円、そのうち市の負担は約31億円となる。

問 3か所予定していた雨水調整池のうち、1号調整池をなぜ不要としたのか。

都市整備部長 下流の天神森排水路を考慮した詳細な調査の結果、支障がないと確認できたため廃止した。

問 国道129号に出る道路が1本廃止され渋滞が深刻になっている。いつ改善されるのか。

都市整備部長 最終的には道路整備が終わらないと厚

なところには植樹をする。

問 市長が住民と向き合っ問題解決してほしい。見解を伺う。

都市整備部長 事業を熟知している所管課で説明を行うべきと思っている。

社会教育部長 建物は新耐震基準に適合している。老朽化や利便性の改善は、大規模修繕の際に対応する。

▼このほかの質問 新港周辺整備

学童保育の保育料減免について

問 多くの自治体で生活保護世帯や非課税世帯、ひとり親世帯の学童保育の保育料を減免し、2人目以降の減免も実施しているが、本市の考えを伺う。

健康・こども部長 令和2年度から生活保護受給世帯は全額を減免し、市民税非課税世帯は減免額の上限を撤廃する。現在、2人目以降の減免は考えていない。

無所属



放課後児童クラブと共生社会の実現に向けて

久保田 聡 議員

放課後児童クラブと子供の居場所づくり

問 放課後児童クラブの登録児童数の推移予想と施設開設などの方向性を伺う。

健康・こども部長 ニーズは高まっており、児童数の増加が見込まれる。余裕教室の活用や既存クラブの分割などを計画的に進め、受け入れ数を拡充していく。

校と特別支援学校の児童・生徒が一緒に取り組めるイベントを実施していく。

問 共生社会の実現に向けて今まで取り組んできた内容と、今後の計画を伺う。

オリピック・パラリンピック推進担当部長 テストトレーニングの受け入れにおいて交流などを進めてきた。大会に向けて、聖火フェスティバルの際に行うイベントや閉会式の際に行うコミュニケーションイベントのほか、パラスポーツ体験なども予定している。



市制施行90周年に向けた取り組み

小泉 春雄 議員

問 本市は令和4年4月に市制施行90周年を迎えるが、記念事業実施についての考えを伺う。

総務部長 現時点では未定であるが、新規で事業を実施する場合は庁内で検討組織を立ち上げるなどして、市民や職員の意見を聴きながら検討していく。

問 見附台周辺整備のメイソンとなる文化芸術ホールも同年3月に供用開始となる。こけら落としと記念事業を兼ねて、NHKのど自慢や大相撲を招致することも検討してはどうか。

総務部長 のど自慢や大相撲なども検討課題の一つとして議論していきたい。

されており、住民の不安は解消されていない。早期の対策が必要ではないか。

土木部長 県が行う急傾斜地崩壊対策事業により当該地を整備するには、急傾斜地崩壊危険区域に指定される必要がある。県や地域と連携しながら、危険区域の指定及び県による崩壊対策事業が円滑に講じられるよう取り組んでいく。

東京2020パラリンピックと共生社会

問 パラリンピックを契機とした、共生社会の実現に向けた考え方を伺う。

オリピック・パラリンピック推進担当部長 市民に関心を持ってもらう絶好の機会であり、パラリンピアンとの交流事業などができる限り行う。また、障がいや多様性を考えるきっかけづくりとして、小・中学

されていく所もあるため、土砂崩れが懸念される。大雨で土砂の一部が民地に流れ込むという事故も起きており、住民の不安は解消されていない。早期の対策が必要ではないか。

問 一般論として、土砂崩れでは、土砂が崩れた方と崩れてきた方どちらの土地所有者が責任を持つのか。また、擁壁工事はどちらがするのか。

まちづくり政策部長 いずれも土砂の傾斜の上の方の土地所有者の責務になる。

▼このほかの質問 第70回湘南ひらつか七夕まつり

日本共産党平塚市議会議員団

所属議員

石田 雄二 議員